

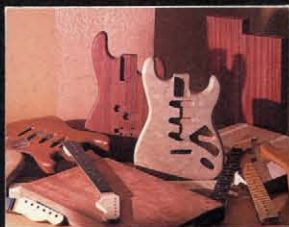
ORDER MADE SYSTEM

★オーダーメイドとは...

音楽性や、プレイスタイルが個性的かつ多様化している現在、市販のGUITAR, BASSの中からLOOKS, SOUND, プレイヤビリティなどすべてに満足できるものを探し出すことは、非常に困難です。ESP オーダーメイドシステムでは、多くの種類の中から好みの材、パーツを選び使いやすいシェイプに加工し、ペイント、使用するパーツ、配線等に細部までをスタッフが、わかりやすく説明しながら貴方の考えをお聞きし、検討していきます。

見積り ESTIMATE

まず、貴方の頭の中にあるGUITAR, BASSを紙面に出すところから始まります。BODY, NECKの材質、形、ペイント、使用するパーツ、配線等、細部までをスタッフが、わかりやすく説明しながら貴方の考えをお聞きし、検討していきます。



木工 Wood Working

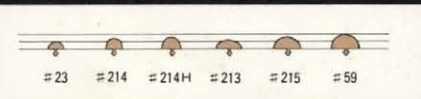
ORDER MADE での一番のPoint ですが、ESPではシェイプに対する制約はほとんどありません。ヴェンテージギターのコピーからまったくのオリジナルシェイプまで、また細部までの指定もOKです。

材選び

※材：充分なシーズニングをすませた大変質の良いものを各種そろえてあります。ソリッドギター、ベースといえども、音質の最大の決め手はBODY材です。致ある種類の中から貴方のニーズに答えるものをお選び致します。

フレット

種類は6つのタイプを用意しております。手にあったものをお選びください。フレットレスもOKです。



塗装 Paint

昔ながらの渋いラッカーフィニッシュからグラフィックペイントまであらゆる仕上げが可能です。

- ニトロセルロース・ラッカー系
ラッカーのすばらしさは、まず塗料の層が「ごく薄い」という事です。また、木によくなじみ材の鳴りを殺さず、よくひきだします。しかし湿度や温度にはかなりの注意が必要です。
- ポリウレタン樹脂系
温度差、湿度、衝撃に強く変質する心配もほとんどないので、現在最も多く使用されている塗料です。気候の差の激しい日本にはむいているかもしれません。
- オイルフィニッシュ
NECKの仕上げとして有名ですが、これは材専用の特殊なオイルで材の表面よりしみこみ木自体に層を作り保護します。仕上がりはほとんど木のままだ手ざわりとなります。

NECK グリップ塗装

- つや消し
光沢を出さずにつやがない感じに仕上げることもできます。手ざわりが良いのでよくNECK裏などに使用されます。
- 生地着
塗装する場合、普通は材の表面の木目の粒を完全に目止めしてから着色にはいりますが、これを無視して直接着色仕上げしてしまうのが生地着塗装です。NECKの仕上げや、アッシュ、チェスナット等の木目の荒いものの仕上げには面白い効果を出します。



BOLT-ON タイプのギターの場合、ハイポジションのブレの時BODY裏のNECKセットブロック部が邪魔になりがちです。そこで思い切ってこの部分をカットしてしまつたのがヒールレスカットです。



Neck Joint

- スルーネック...BODYの芯となる角材からNECKをけずりだし、BODYは両サイドに別の材をはって削り出すタイプです。
- セットネック...BODY, NECKをそれぞれ加工してからジョイント部を接着するタイプです。
- デタッチャブル(BOLT-ON)ネック...BODY, NECKを全く別に仕上げ、ビスによって接着するタイプです。



グリップ

どの様な形でもOKです。一番手にあうものをお選び下さい。オリジナルグリップも指定できます。



BODY 特殊ペイント見本



★ピックアップ ESPはもちろんダンカン、トムアンダーソン、シェクター等、どの様なPUでもお選びいただけます。それぞれのPU特性、材とのマッチングなど貴方のお好みの音をチョイスいたします。

※ブリッジ あらゆるタイプのをマウント可能です。BODYに加工が必要なタイプでも最良のセッティングで取付けいたします。

※特殊配線 通常のボリューム、トーン、PUセレクターSWの他にも必要性にあわせて特殊なSWを配線することができます。

★タップSW
ハムバッカーPUで片方のコイルのみ使用することを一般的に「コイル・タップ」といいます。これによりシングルコイルのような音が得られます。シングルコイルPUの中でもコイルの途中からタップ線を出しているタイプもあり、これを使うとローパワーの音が得られます。ミニSWを使用するのが一般的です。●メーカーや種類によってタップ配線できないものもあります。

★ON-OFF SW
どのような状態でも音を完全にカット、OFF状態にするSWです。

★ダイレクトSW
ボリュームをカットしてフルボリューム状態にするSWです。

★リーズンバラレルSW
ハムバッカーUPの場合、ノーマルの状態の直列(シリーズ)と並列(パラレル)を切替えるSWです。パラレルにしたときの音は、いらかパワーアップした硬めのハムバッカーとシングルコイルの中間のような感じになります。これもメーカー、種類により不可能なものもあります。

★コンデンサーSW(トーンSW)
トーンをつまみでなくSWにして、トーンを絞ってこもった感じの音をSW一発で切替えられSWです。ハムタイプのギターなどに音のハリを演出するのにも最適です。

★フェイスSW
2つ以上PUのついているものでハーフトーン(2つ同時にならす)を使う場合、普通はそれぞれのPUのプラスとマイナスを合わせますが片方のPUのプラスとマイナスを逆にしようことを「フェイス」といいます。この場合普通のハーフトーンよりパワーのない線の細い軽い音になります。切替えは普通ミニSWを使います。

Parts 現在、使用されているあらゆるものをマウントできます。

※ベグ クルソンタイプ、シャーラータイプ、グローバータイプ等各種取り揃えてあります。また、シャーラー製、グローバー製、シェクター製などの輸入品もOKです。

※ナット 弦が直接あたる重要な部分です。材質により音も変わります。★牛骨ナットサスティン、すべりの良さ、音質などのバランスがよく調整しやすいのがポイントです。色は白色です。

★プラスナット 真鍮(黄銅)のナットです。倍音がよく出るのでサスティンにすぐれておりクリアな音質が特徴です。色は金色です。

★カーボンナット 炭素繊維のナットです。全体的なバランスもよく、硬質で割れにくいのが特徴です。黒色のナットです。

組込 Set Up

ギターベースのチェックポイントとしてBODY-NECK材と質、ペイント、パーツ、ルックス、性能など色々ありますが、一番重要なのは「どのような手順で組み立てられたか」どれだけ手をかけて作られたかという「組込み」作業です。どんなに良い材、パーツを使ってもこの組込みで手間はふはいたりすると、すべて台無しになります。たかが組み立て作業と思われるかもしれませんが、ここでそのギターの音の良さ悪しが決まるといっても過言ではないでしょう。



流れ作業ではなく時間をかけ全体の調子を見ながらトップレベルのクラフトマンが一本一本組上げるオーダーメイドシステムだからこそ自信をもっておすすめいたします。



After Care

厳選された材、パーツを使って細心の注意をはらって作り上げるオーダーメイドシステムですが、万一こちらの不備で異常をきたしたり、故障してしまった場合にはもちろん無料でお直しいたします。

★お渡ししてから責任をもって調子を見させていただきます。細かい調整のやり直しやNECKの調整など、どんな小さなことでも構いませんのでスタッフまでお申し付けください。

